

魅力ある授業のために（単元化例） 言語文化 読むこと

1 単元の目標

- (1) 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解することができる。〔知識及び技能〕 (1)オ
- (2) 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。〔思考力、判断力、表現力〕 B(1)ウ
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。「学びに向かう力、人間性等」

2 指導と評価の計画

科目名	言語文化	学年類型	1年	単位数	2単位	話すこと 聞くこと	
単元名	松尾芭蕉の俳句を読み味わおう （『笈の小文』）					書くこと	
単元の評価規準						読むこと	○
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。		「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。		俳句に詠まれた心情を理解した上で、俳句を創作したり、鑑賞したりする活動を通して、俳句の表現の特色を用いて粘り強く作句をし、自らの学習を調整しようとしている。			
主たる言語活動							
俳句に詠まれた心情を理解した上で、俳句を創作したり、鑑賞したりする活動。							
時間	授業のねらい・主たる学習活動			重点項目			評価方法
				知	思	態	
1	和歌の修辞技法に興味をもち、解説文を書く。			○	○		・記述の確認 （創作した俳句）
	①単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ②『笈の小文』における芭蕉の旅程を地図で確認し、当時の旅と現代の旅の違いを理解する。 ③「鷹一つ…」の句について、「鷹」が何を表しているのか確認し、杜国と再会を喜ぶ芭蕉の心情を理解する。 ④芭蕉が俳句に込めた心情を理解させた上で、同様の心情を俳句に反映させる。俳句創作の条件は次のとおりとする。 ・芭蕉の心情に沿ったもの ・「鷹一つ…」の俳句のうち、中七はそのまま用い、上五と下五を創作し、提出する。						
2	本文の内容を踏まえた和歌の鑑賞文を書く。				◎	◎	・行動の分析 （発表）
	⑤俳句の鑑賞と評価をすることを示す。 ⑥「前時に生徒が創作した俳句のうち三句を鑑賞させ、それぞれの評価とその理由を記述させる。評価の基準は以下のとおりとする。 ・芭蕉と同様の心情を詠んでいるか。 ・芭蕉の見立てと同様の表現技法が用いられているか。						

	⑦評価とその理由を発表させる。 ⑧⑥に示した基準に基づいて自分の俳句を評価させる。改作したい生徒には改作を認める。 ⑨振り返りシートを記入する。				・記述の分析 (振り返りシート)
定期考査		◎			

※重点項目について、「◎」は総括の資料とするもの、「○」は、総括の資料とせず、不満足な場合は何らかの指導を行う。

3 思考・判断・表現のルーブリック

観点	評価A	評価B	評価C
文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。	俳句の構成や表現の仕方、修辞技法など表現の特色について適切に評価し、説得力のある理由付けもできている。	俳句の構成や表現の仕方、修辞技法など表現の特色について評価している。	俳句の評価をしている。